



田中ニュース じゅん子

編集・発行 / 区議会公明党 区議会議員 田中じゅん子
〒133-0054 江戸川区上篠崎3-10-11 TEL 03-3677-4973

2013年(平成25年)1月 No.51
<http://www.e-komei.com/tanaka>

平成24年 第4回定例会 全力で代表質問!

江戸川区議会第4回定例会が11月29日から12月11日まで行われました。田中淳子区議は区議会公明党を代表し多田正見区長に対し、区民生活を守るため4項目の課題について全力で質問提案を行いました。ここでは、質疑の概要(抜粋)をお知らせします。



本会議で代表質問をおこなう田中淳子区議

問 「子ども・子育て関連三法」の成立に関連して、「子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要と考える。計画策定に非常に重要な役割を果たす「地方版子ども・子育て会議」の設置と子育て新システム実施に向けた予算編成を。

答 子育て新システムの内容がまだよくわかっていないので、現時点での予算化や「子ども・子育て会議」を設置して議論を行うことは難しい。国の動向を注視していきたい。



問 子ども読書活動の推進について

- 1 児童生徒や教職員へ幅広い支援を行う「学校図書館指導員」の導入を。
- 2 本に親しみ、活用する楽しさを知り、司書としての知識等を得た子どもにも「子ども司書」の認定を。
- 3 読書の幅を拡げるため、各学校図書館における図書データのデータベース化の推進を。

答 読書の幅を拡げるため、各学校図書館における図書データのデータベース化の推進を。



問 脱法ハープへの対策について。

- 1 区のホームページに薬物乱用防止のページを作成するなど、あらゆる機会を使い脱法ハープについての周知、啓発の取り組みの強化を。
- 2 学校現場での取り組みや保護者・教職員に危険性を周知する取り組みの強化を。

答 区のホームページに薬物乱用防止のページを作成するなど、あらゆる機会を使い脱法ハープについての周知、啓発の取り組みの強化を。

問 改修の要が生じている私道の下水道施設について、補修工事に対する助成を。

答 下水道延長の10%は私道にあるため、老朽化に伴う補修作業や財政負担は膨大である。住民だけで対応できないのであれば、私道内であっても行政が支援していかなければならない。状況や条件について分析し、前向きに助成制度などを検討していく。

問 新たに導入される「包括指定」は抜本的解決策として大いに期待している。啓発については、これまで薬防協の指導員が中心となっており、今後、ホームページへの掲載も含め、今後薬防協の皆さんと協力しながら、地域全体で薬物乱用防止に努めていきたい。

答 具体的に危険性が理解できるようなリーフレットや写真の掲示を含めて積極的に進めていきたい。

問 学校図書館では、司書教諭を中心に教員や地域の読書ボランティアの方々がさまざまな役割を担っている。来年度から指定管理者が管理する地域図書館との協力も進めている。

答 読書料の内容には、本を読むだけでなく、本の整理や読書環境をどうつくっていくかという視点も含まれる。したがって本区の子どもたちは「子ども司書」に通じる要素を学んでいる。

問 教員自ら図書館の状況を把握し、意欲を高めていくことが大切である。現時点においてシステムを導入する予定はない。

答 読書料の内容には、本を読むだけでなく、本の整理や読書環境をどうつくっていくかという視点も含まれる。したがって本区の子どもたちは「子ども司書」に通じる要素を学んでいる。